

日本政治学会 会報

The JPSSA News

No. 35

MAY. 1998

研究会場での会費現金徴収の停止について

常務理事 馬場 康雄

日本政治学会事務局は、会の運営を効率化するためいくつかの制度変更をお願いしてまいりました。幸い皆様のご理解を得ることができ、会員は順調に増加し、会費の納入状況も良好でございます。

この状態を維持しつつ、事務を円滑に受け渡していくには、作業のいっそうのスリム化が必要であると考えます。そこで、現在行われている研究会・総会での会費払い込みの受け付けを本年から停止することについて皆様のご了承をいただきたく存じます。

会場での会費納入を受け付けるため、歴代の学会事務局は多くのアルバイトを徴募し、また現金取り扱いに身の細るような注意を払ってまいりました。さらに現行の方式は研究会開催校にも多

大の負担をもたらしています（当日までに会費納入状況を付した名簿を用意し、会員の問い合わせに答えなければならないためです）。

これらのことに鑑み、現事務局は研究会場での会費現金徴収の停止を理事会に提案し、数回の慎重な審議の末、やむを得ない事情（たとえば研究会直後に長期にわたり日本を離れるといった）には特別に配慮することを条件に、本年3月の理事会でこの提案が承認されました。

なにぶんにも大きな変更であり、これまでの方式に慣れ親しんできた会員の皆様にご不便をお掛けすることと思いますが、事情を御賢察のうえ、なにとぞご了承ください。

つきまして、会費納入には郵便振替をご利用くださるようお願いいたします。

今年度研究会の企画について

98年度企画委員長 渡辺 浩

今年、日本政治学会は創立50周年を迎えました。そこで、京都で開催される今年度の研究会に際して、それを祝い、将来のさらなる発展を期するための記念行事が行われます。同行事担当の五百旗頭真理事の御尽力による、重厚にして魅力的なその内容は、本ニュースレター掲載のプログラムに記載されています。

さらに、大嶽秀夫・蒲島郁夫両理事の御努力により、セオドア・ローウィ教授に特別講演をして頂くことになりました。また、例年のアメリカ政治学会(APSA)・ヨーロッパ政治研究機構(ECPR)との交流セッションに加え、韓国政治学会、そしてネパール・バングラデシュの政治学会との交流の分科会も設けられます。

研究会自体の企画にも種々の新たな試みがあります。第1は分科会の数の増加です。全員参加の

記念行事・特別講演があることも考慮して、共通論題は1個に限りました。そして日曜日の午前にも6つの分科会が並行して開催されます。

第2は、共通論題に政治学教育を取り上げたことです。本学会会員の多くは政治学研究者であると同時に政治学教育者です。しかし、その面に着目しつつ政治学のあり方について反省し議論する機会は、年次研究会ではあまりなかったように思われます。しかし、多様な大学改革の模索もあり、とりわけ近年、この問題への関心が高まっているのではないのでしょうか。会員の中にもおそらく特定の専門家のいないこの問題を、ともに考えようという企画です。

企画委員の方々の創意と御努力で、その他の企画も実に興味深いものとなりました。多数の会員の御参加を願っております。

1998 年度日本政治学会研究会プログラム

開催地：京都（5月6日現在。仮題を含む）

10月2日（金） 於：京都ブライトンホテル
日本政治学会創立50周年記念シンポジウム

「日本における政治学の展開」

司会 村松岐夫（京都大学）

報告 三谷太一郎（成蹊大学） 戦前の政治学

升味準之輔：戦後の政治学

内田 満（早稲田大学）

山口 定（立命館大学）

創立50周年記念パーティー

（通例の土曜日の夜の懇親会は行わない）

10月3日（土） 於：同志社大学
午前

共通論題 誰のための政治学か？

——政治学教育の意義と方法

司会 山川雄巳（関西大学）

報告 石川捷治（九州大学）

時代転換のなかの政治学教育

——学生と共に何を考えていくのか

小林良彰（慶應義塾大学）

日本における政治学教育の意義と方法

真淵勝（大阪市立大学）

討論 河田潤一（大阪大学）

中村研一（北海道大学）

午後

特別講演 Theodore Lowi (Cornell University)

Political Science: Present and Future

（司会 大嶽秀夫・京都大学）

分科会A 「大きな政府」の終焉か？

——行政改革の国際的動向

司会 水口憲人（龍谷大学）

報告 今村都南雄（中央大学） 日本を中心に

梅川正美（愛知学院大学）

イギリスを中心に

大山耕輔（筑波大学） アメリカを中心に

討論 森田朗（東京大学）

分科会B 民族紛争の理論

司会 大内 穂（秀明大学）

報告 浦野起央（日本大学） 国際紛争・対立の
パターンと争点・特徴・枠組

月村太郎（神戸大学）

民族紛争のエスカレーションについて

戸田真紀子（天理大学） アフリカの民族
問題——「部族抗争」の名のもとで

討論 巢山靖司（大阪外国語大学）

佐藤幸男（富山大学）

分科会C 現代政治におけるオポジションの変質

司会 砂田一郎（学習院大学）

報告 山口二郎（北海道大学） 英国労働党

石川真澄（新潟国際情報大学）

日本社会党・社民党

真柄秀子（筑波大学）

イタリア・ドイツの場合

討論 白鳥 令（東海大学）

分科会D ラディカル・デモクラシーの課題と
展望

司会 中道壽一（北九州大学）

報告 C・ダグラス・ラミス（津田塾大学）

ラディカル・デモクラシーの現在

川原彰（中央大学） グローバル・デモク

ラシーとラディカル・デモクラシー

千葉真（国際基督教大学）

新しい市民社会論とデモクラシー

討論 高島通敏（立教大学）

姜 尚中（東京大学）

分科会E 政治体制の日韓比較研究

（韓国政治学会との交流セッション）

司会 福井治弘（南山大学）

報告 趙 昌鉉(Cho Chang-hyun)(漢陽大学校)

変革期の地方自治と政治体制——日韓比較

辻中 豊（筑波大学） 利益集団の日韓比
較分析

李 甲允(Lee Kap-yun)(西江大学校)

選挙過程の日韓比較分析

討論 廉 載鎬(Yeom Jae-ho)(高麗大学校)

学 会 ニ ュ ー ス

10月4日(日) 於:同志社大学

午前

分科会F 選挙制度改革——その理論と現実

司会 河合秀和(学習院大学)

報告 河野 勝(青山学院大学)

日本における並立制導入の功罪
—戦略的分裂投票に関する理論と実証
木宮正史(東京大学)

韓国の選挙制度と地方割拠的政党体制
村上信一郎(神戸市外国語大学)

イタリアにおける選挙制度改革と
政党再編

討論 スティーブ・リード(中央大学)

分科会G 市民社会は存在するか

司会 大串和雄(国際基督教大学)

報告 片山 裕(神戸大学)

東南アジアにおける市民社会——エス
ニシティ・家族主義・中間層そして
NGO

磯崎典世(学習院大学)

韓国の開発体制の変動と市民社会

狐崎知己(専修大学)

ラテンアメリカ——ネオリベリズム
の黄昏と市民社会の再編

討論 川端正久(龍谷大学)

藤原帰一(東京大学)

分科会H 国際化のなかの主権国家

司会 高橋直樹(東京大学)

報告 若松邦弘(東京大学)

戦後イギリスの政策形成とその制約
——1962年英連邦移民法をめぐる
政策過程

伊藤 剛(明治大学)

国際政治構造の変化と日米中三国間
関係

討論 添谷芳秀(慶應義塾大学)

竹中千春(明治学院大学)

分科会I ジェンダーと政治

司会 阿部 斉(放送大学)

報告 御巫由美子(国際基督教大学)

比較政治と政策——日本の雇用均等法
遠藤 貢(東京大学)

女性と開発、政治参加

相内真子(北海道女子大学)

アメリカ政治——女性と政治参加

討論 館 かおる(お茶の水女子大学)

岩本美砂子(三重大学)

分科会J 日本人の「アジア」観

司会 石田 雄

報告 山室信一(京都大学)

アジア論と国家観の交錯

大塚健洋(姫路獨協大学)

大川周明のアジア観

討論 岡本仁宏(関西学院大学)

原 武史(山梨学院大学)

分科会K Parties in Transition

(アメリカ政治学会APSA・ヨーロッパ政治
研究機構ECPRとの交流セッション)

司会 田中愛治(早稲田大学)

報告 Richard Katz (Johns Hopkins Univer-
sity, APSA)

Martin Wattenberg (University of
California, Irvine, APSA)

Colette Ysmal (フランス政治生活研究
センター、ECPR)

討論 石生義人(筑波大学)

午後

分科会L 王様の政治学

——デモクラシーにおける王室

司会 御厨 貴(東京都立大学)

報告 坂本多加雄(学習院大学) 日本

中西輝政(京都大学) イギリス

村嶋英治(早稲田大学) タイ

討論 永森誠一(國學院大学)

分科会M 経済の国際化と国際政治

司会 山本吉宣(東京大学)

報告 樋渡由美(東京外国語大学)

石油危機後の日米関係

山田高敏(東京工業大学)

国際電気通信レジーム

小林誠(立命館大学)

経済の国際化と発展途上国

討論 恒川恵市(東京大学)

分科会N 政治学の新しい地平を探る

司会 高橋 進 (東京大学)
 報告 坪郷 實 (早稲田大学)
 環境政策と政治学
 坪井善明 (早稲田大学)
 文化と政治—再考
 討論 河田潤一 (大阪大学)

分科会O アジアの民主化と市場経済化 (アジアの政治学会との交流セッション)

司会 木村雅昭 (京都大学)
 報告 Ganga Bahadur Thapa (カトマンズ大学・
 ネパール政治学会会長)
 ネパールの民主化と市場経済化
 Ataur Rahman (ダッカ大学)
 バングラデシュの民主化と市場経済化
 Geoffrey Pridham (ブリストル大学)
 民主化の政治学—理論と比較

討論 Mario Telo (ブリュッセル自由大学)
 藤原帰一 (東京大学)
 谷川昌幸 (東北芸術工科大学)

分科会P 自由論題

司会 西澤由隆 (同志社大学)
 報告 増山幹高 (カリフォルニア大学サンディ
 エゴ校)
 議事運営の理論と実証
 岩崎健久 (帝京大学)
 消費税に対する民意の容
 天川由記子 (水戸短期大学)
 テレビCMに見られる政党選挙戦略
 田中智彦 (早稲田大学)
 ラディカル・デモクラシーの理念と課題
 討論 平野 浩 (明治学院大学)
 杉田孝夫 (お茶の水女子大学)

1997年度 第4回 理事会 記録

日時 1997年12月6日(土) 午後2時10分から
 場所 大阪有恒倶楽部

1. 各委員会報告

(1) 企画委員会

小林97年度企画委員長が欠席のため、97年度開催校の加藤節理事より、従来になく多数の参加者があったため、今後の研究会運営に関し留意すべき点があった旨報告された。

渡辺98年度委員長より、来年度大会については、金曜日の特別セッションやローウィIPSA会長の特別講演があるため、通常の共通論題は一つに絞り、分科会は15程度用意するという方針が示され、了承された。

(2) 文献委員会

北住97年度委員長より、学界展望については、年報の掲載号が刊行されるのを待っている状態であることが報告された。

加藤秀治郎98年度委員長より、福永文夫(姫路獨協大学)、滝口剛(大阪大学法学部)、森脇俊雅(関西学院大学)の3名を委員に追加したことが報告され、了承された。

(3) 年報委員会

五百旗頭97年度年報委員長より、97年度年

報は年内刊行の予定であることが報告された。

加茂99年度委員長より、すでに決定している年報委員会の加茂利男、山川雄巳、足立幸男、千葉真、後房雄、新川敏光の各会員に、杉田敦(法政大学)、下斗米伸夫(法政大学)、宮本太郎(立命館大学)、大西仁(東北大学)、建林正彦(関西大学)、鈴木基史(関西学院大学)、伊藤恭彦(静岡大学)、野田省吾(大阪市立大学)の各会員を加えて研究会を組織し、運営のために文部省の科研費に応募したことが報告された。

(4) 国際交流委員会

大嶽委員長より、アメリカ政治学会との交流に関して、98年度の研究会にParties in Transitionというセッションを設けてアメリカ政治学会から2名の参加が予定されていること、またそのセッションにヨーロッパからの参加者も1名加える方針で人選を行っていることが報告された。また98年度のアメリカ政治学会研究会への派遣者に関しては、公募の結果、川人貞史会員(東北大学)の派遣が決まり、さらに委員会としては川出良枝会員(東京都立大学)と大嶽委員長を派遣する

方針が報告され了承された。なお派遣費用は基本的に外部費用でまかなえるという見通しが示された。

ECPR との交流に関しては、日欧ともに、それぞれの公式の研究会とは独立に運営されているために、一般会員との接点が少ないことが指摘され、これについて若干の議論の結果、明年3月に佐々木理事長および大嶽委員長が訪欧して、双方の研究会に学会から恒常的に派遣を行うことなどを含め、調査および協議を行うこととした。

アジアとの交流に関しては、来年4月に韓国との共同研究を双方6名の委員で科研費をもとに発足させる方針が報告された。また98年度研究会でこの共同研究をもとにした分科会を設定する案を企画委員会とも協議して検討することとし、またネパールやバングラデシュの学会との交流に関して、98年度研究会に一つの分科会を設け、先方から参加者を招く方向で検討することとした。

2. 研究会における報告ペーパーに関する件

企画委員会や開催校から提起された、研究会の報告ペーパーの増し刷りに多大の労力がかかっており、またペーパーをめぐる種々のトラブルが生じている問題に関して、意見が交換された。対応策として、増刷をしない、あるいはペーパーの分量に厳しい制限を設けることなどの意見があったが、3月の理事会で改めて議論をすることとなった。

3. 50周年記念事業の件

五百旗頭50周年記念事業特別委員長より、

参加者が予想よりも多かった場合の対応や、懇親会の会費と学会からの財政支出の問題点などが提起され、若干の議論がなされた。

4. 新入会員承認の件

下記の12名の入会が承認された。

名嘉憲夫、福井秀樹、増島建、三枝泰一、佐野亘、江藤賢一、立石芳夫、陳肇斌、風間規男、河原地英武、真下英二、堀本武功

5. 事務局報告

馬場常務理事より、入会手続きの変更に伴う移行措置として、本年は研究会の場での入会申し込みを直ちに理事会で審査するという旧来の慣行を維持したが、来年からは新制度に一本化し、研究会当日の入会申し込みは次の理事会で審査することにしたいという提案があり、了承された。

また馬場常務理事より、研究会当日の学会費徴収は、人員手当の面でも精神面でも負担が大きく、しかも開催校事務局にも少なからぬ負担となっているので、これを廃止し、会費徴収は郵便による督促に絞りたいという提案があり、新方針を採用する方向で、3月の理事会においてさらに検討することとした。

さらに馬場常務理事より学会の名簿管理・会費徴収事務につき、外部に事務処理を委託することに関して調査結果の報告があり、今後、前向きに検討する方向で議論がなされた。

6. 次回以降の理事会の日程の件

次回理事会を1998年3月20日(金)14:00から東京で開催することが承認された。

1997年度 第5回 理事会 記録

日時 1998年3月20日(金) 午後1時から

場所 東京大学法学部4号館

1. 各委員会報告

(1) 企画委員会

渡辺1998年度企画委員長から、10月の研究集会の構成について、国際交流関係に関する3つの分科会(アメリカ及びヨーロッパ、ネパール及びバングラデシュ、韓国)を含め16の分科会を予定していることを中心に説明があり、報告者等を確定しつつあることが報告された。

(2) 文献委員会

加藤秀治郎1998年度文献委員長より、選挙関係の文献が多くなっているため、委員に西澤由隆会員(同志社大学)を追加したいとの提案があり、了承された。また本年度の編集方針は従来そのままとするものの、来年度以降について、年報における文献紹介の紙数を、文献数の増大に見合った形で増やすべきではないかという問題提起がなされ、実現可能性に関する調査を行ったうえ、次期理事会に引き継ぐこととなった。

(3) 年報委員会

五百旗頭 97 年度年報委員長より、昨年刊行した年報を 300 部増刷することになった旨、報告された。

北岡 98 年度委員長より、現在研究会メンバーは執筆に入っていること、また公募論文の掲載は 3-4 編にとどまる見通しであることが報告された。

加茂 99 年度委員長より、特集テーマに関係する五〇周年企画の講演記録などを掲載する方向で検討を進めていること、また公募論文の応募状況が低調であることが報告された。

(4) 国際交流委員会

大嶽委員長欠席のため、佐々木理事長から順調に事業が運営されている旨の伝言が披露された。

(5) 五〇周年記念事業委員会

五百旗頭委員長より、準備は順調に進行しており、現在会場関係経費の交渉と、宿泊先案内の準備等を行っていることが報告された。

2. IPSA の件

蒲島理事 (IPSA 執行委員) より、2 月 12~15 日にカナダのケベック市でラウンドテーブル及び執行委員会が開催され、2000 年世界大会の開催地を視察したほか、テーマが CORPORATE MILLENIUM になったこと、年会費額について通貨変動の影響で再検討したいという提案があったが、日本は反対し、当面、現状が維持される方向となったこと、いずれ日本でも何らかの会議を引き受けなければならなくなる状況が予想されることが報告され、意見が交換された。

3. 1996 年度決算の件

馬場常務理事より決算の概要が報告され、石田・千葉両監事から監査により適正に処理されていることを確認したことが報告された。

4. 1997 年度予算の件

馬場常務理事より予算案が提案され、原案通り承認された。(予算一覧別添)。なお今後の予算編成で、年報会計の維持に配慮すべきことが確認された。

5. 学術会議関連の件

馬場常務理事より、学術会議において国際会議派遣の希望が聴取されたが、日本政治学会からの派遣計画は採用されなかった旨の報告があった。

6. 新入会員承認の件

下記の 19 名の入会が承認された。なお入会資格について意見交換が行われ、研究者という

要件を厳格に適用すべきことが確認された。

文聖漢、金子芳樹、唐亮、Robert D. Eldridge、中野晃一、西村公孝、島崎忠宏、曾我謙悟、出水薫、狐崎知己、市島聡之、添谷芳秀、山口晃、山本吉宣、野沢正暁、安野正明、孫尚仁、長谷川一年、MERVIÖ, Mika Markus

7. 事務局報告

馬場常務理事より問題提起が 3 点行われた。

第一に、前回の議論を受けて、今後は秋の研究集会における学会年会費の現金徴収を廃止したい旨の提案があり、問題が起こった場合には見直すこと、例外的事情を考慮することをあらためて確認したうえ、承認された。

第二に学会業務の外部委託について、委託内容を会費関係事務に限定すると、経理状況が許す範囲の支出増で可能だとの調査結果が報告された。

これについて若干の議論がなされ、積極論が中心であったため、99 年度の導入を視野に入れ、委託先候補の選定も含め、費用や事務のあり方についてさらに具体的に調査して、6 月の理事会で再度検討することとなった。

第三に出版者著作権協議会から、出版物の複写利用に伴う諸学術団体への使用料配分の一環として、日本政治学会にも 30 万円程度の金銭を払い込みたいという連絡があったこと、事務局としては著作権法の専門家等から意見を聞いたうえ、受け取って差し支えないと判断していることが報告され、この方針が了承された。

8. 次回理事会の日程の件

次回理事会を 1998 年 6 月 6 日 (土) 東京で開催することが承認された。また次期理事会も同日開催する方針であることが、五百旗頭次期理事長から報告された。

9. その他

五百旗頭次期理事長より次期理事会の役員構成を次のようにしたいとの報告があった (敬称略)。1999 年度企画委員長 下斗米伸夫 (法政大学)、2000 年度企画委員長 御厨貴 (東京都立大学)、2000 年度年報委員長 加藤節 (成蹊大学)、2001 年度年報委員長 馬場康雄 (東京大学)、1999 年度文献委員長 藪野祐三 (九州大学)、2000 年度文献委員長 飯島昇蔵 (早稲田大学)、国際交流委員長 大嶽秀夫 (京都大学)、国際交流副委員長 蒲島郁夫 (東京大学)、選挙管理委員長 寺崎修 (慶應義塾大学)、常務理事 久米郁男 (神戸大学)

学 会 ニ ュ ー ス

日本政治学会 1997 年度決算

[一般会計]

費 目 予算額 執行額 残 高

[収入]

1 前年度繰越金	4,829,735	4,829,735	0
2 会費収入	9,860,000	10,655,230	795,230
3 雑収入	5,000	175,289	170,289
収入合計	14,694,735	15,660,254	965,519

[支出]

1 研究会開催費	1,100,000	1,100,000	0
A 研究会準備金	1,050,000	1,050,000	0
B 報告者礼金	50,000	50,000	0
2 委員会経費	865,000	865,000	0
A 年報委員会	210,000	210,000	0
B 企画委員会	210,000	210,000	0
C 文献委員会	190,000	190,000	0
D 国際交流委員会	170,000	170,000	0
E 選挙管理委員会	35,000	35,000	0
F 五十周年記念企画委員会	50,000	50,000	0
3 理事会経費	100,000	70,233	29,777
4 I P S A 学会分担金	200,000	220,352	-20,352
5 事務局経費	1,100,000	1,125,212	-15,212
A 理事長通信費	100,000	100,000	0
B 運営費	60,000	60,000	0
C 人件費	700,000	700,000	0
D 経常費	250,000	265,212	-15,212
6 名簿作成積立金	450,000	450,000	0
7 国際交流基金への積立金	300,000	300,000	0
8 選挙管理費	400,000	400,000	0
9 会報発行費	650,000	671,591	-21,591
10 年報会計への繰出	4,500,000	4,500,000	0
11 予備費	5,019,735	42,450	4,977,285
支出合計	14,694,735	9,744,828	4,949,907

差引残高 5,915,426 5,915,426

[一般会計資産]

現金	0
郵便振替口座	1,584,681
郵便貯金総合口座	3,924,926
三和銀行普通口座	405,819
合 計	5,915,426

[別会計]

費 目 予算額

1 名簿作成積立金

[収入]

1 前年度繰越金	506,360
2 本年度積立金	450,000
3 利息	722
収入合計	957,082

[支出]

支 出	0
-----	---

差引残高 957,082

2 国際交流基金

[収入]

1 前年度繰越金	21,070,523
2 本年度積立金	300,000
3 利息	126,261
収入合計	21,496,784

[支出]

支 出	301,260
-----	---------

差引残高 21,195,524

3 年報会計

[収入]

1 前年度繰越金	2,018,175
2 一般会計から	4,500,000
3 利息	6,669
収入合計	6,524,844

[支出]

支 出	5,141,958
-----	-----------

差引残高 1,382,886

学 会 ニ ュ ー ス

日本政治学会 1998 年度予算

[一般会計]

費 目	予算額
〔収入〕	
1 前年度繰越金	5,915,426
2 会費収入	10,380,000
3 雑収入	2,000
収入合計	16,297,426

〔支出〕

1 研究会開催費	1,100,000
A 研究会準備金	1,050,000
B 報告者礼金	50,000
2 委員会経費	830,000
A 年報委員会	210,000
B 企画委員会	210,000
C 文献委員会	190,000
D 国際交流委員会	170,000
E 選挙管理委員会	0
F 五十周年記念企画委員会	50,000
3 理事会経費	100,000
4 I P S A学会分担金	390,000
5 事務局経費	1,610,000
A 理事長通信費	100,000
B 運営費	60,000
C 人件費	800,000
D 経常費	250,000
E 事務局移転費	400,000
6 名簿作成積立金	550,000
7 国際交流基金への積立金	300,000
8 選挙管理費	0
9 会報発行費	700,000
10 年報会計への繰出	4,700,000
11 五十周年記念事業費	500,000
12 予備費	5,517,426
支出合計	16,297,426

[別会計]

費 目	予算額
1 名簿作成積立金	
〔収入〕	
1 前年度繰越金	957,082
2 本年度積立金	550,000
3 利息	700
収入合計	1,507,782

〔支出〕

1 名簿作成費用	1,507,782
2 予備費	0
支出合計	1,507,782

差 引 0

2 国際交流基金

〔収入〕	
1 前年度繰越金	21,195,524
2 本年度積立金	300,000
3 利息	126,261
収入合計	21,621,785

〔支出〕

1 執行計画	550,000
2 予備費	21,071,785
支出合計	21,621,785

差 引 0

3 年報会計

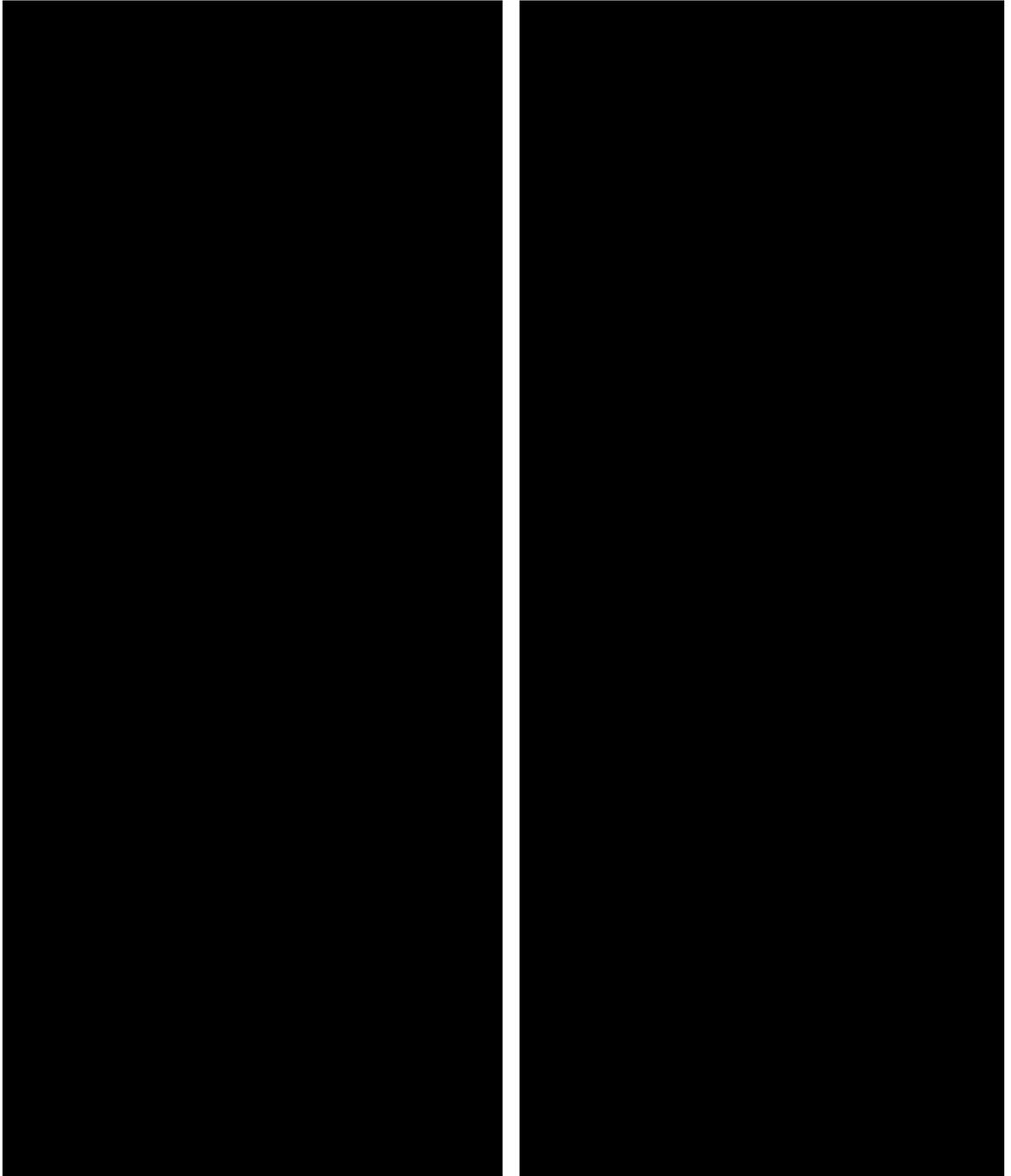
〔収入〕	
1 前年度繰越金	1,382,886
2 一般会計から	4,700,000
3 利息	2,000
収入合計	6,084,886

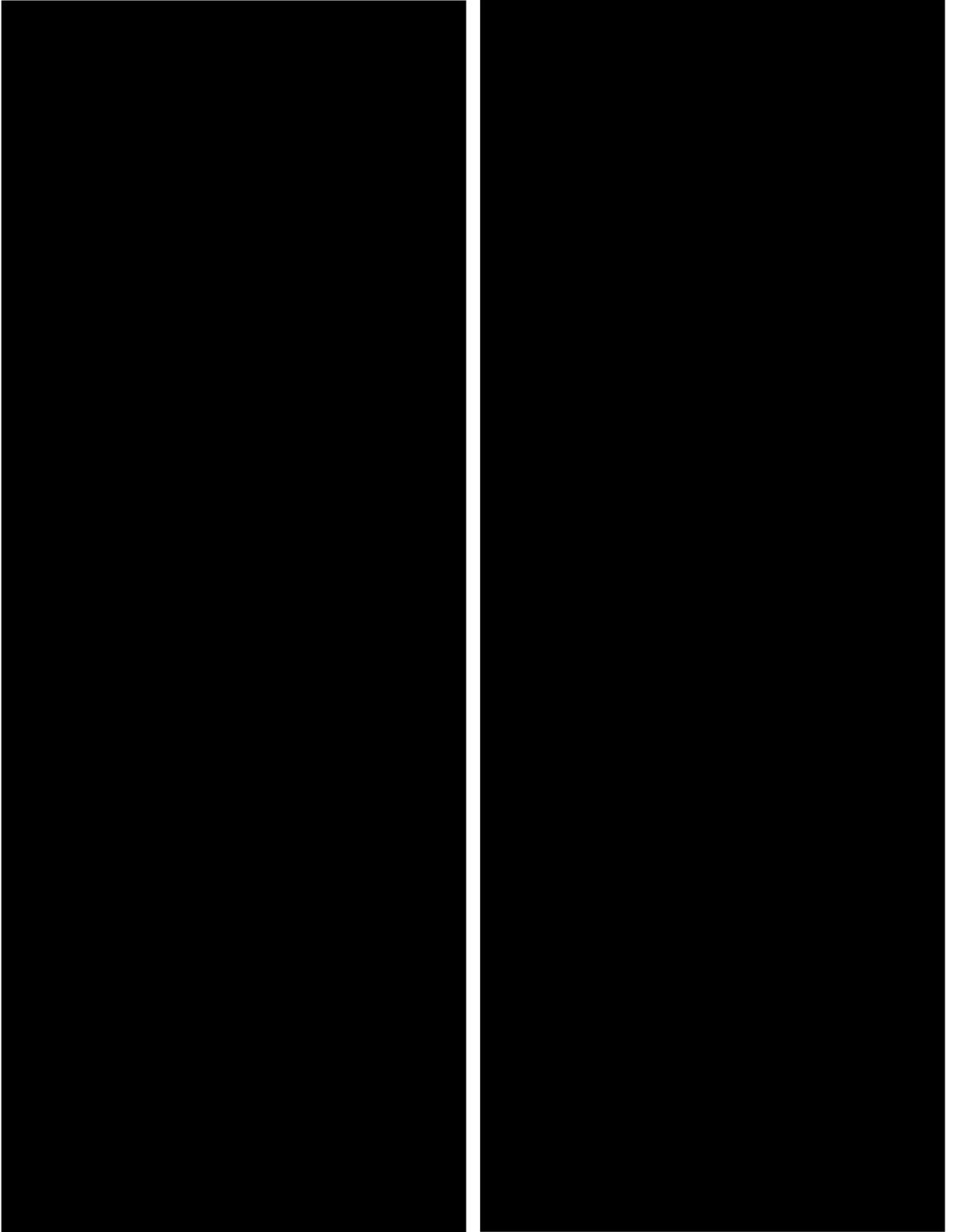
〔支出〕

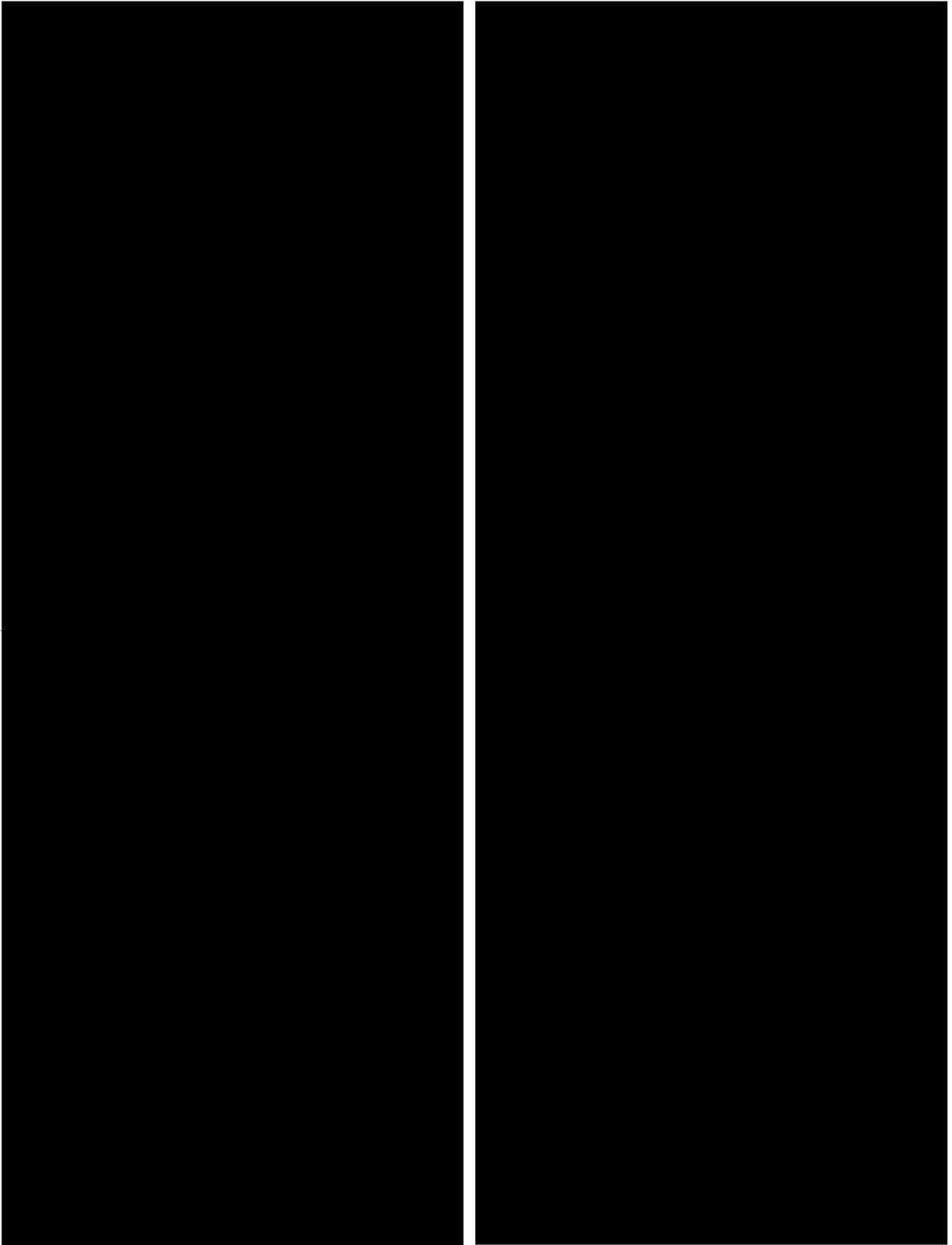
1 年報費用	5,400,000
2 予備費	684,886
支出合計	6,084,886

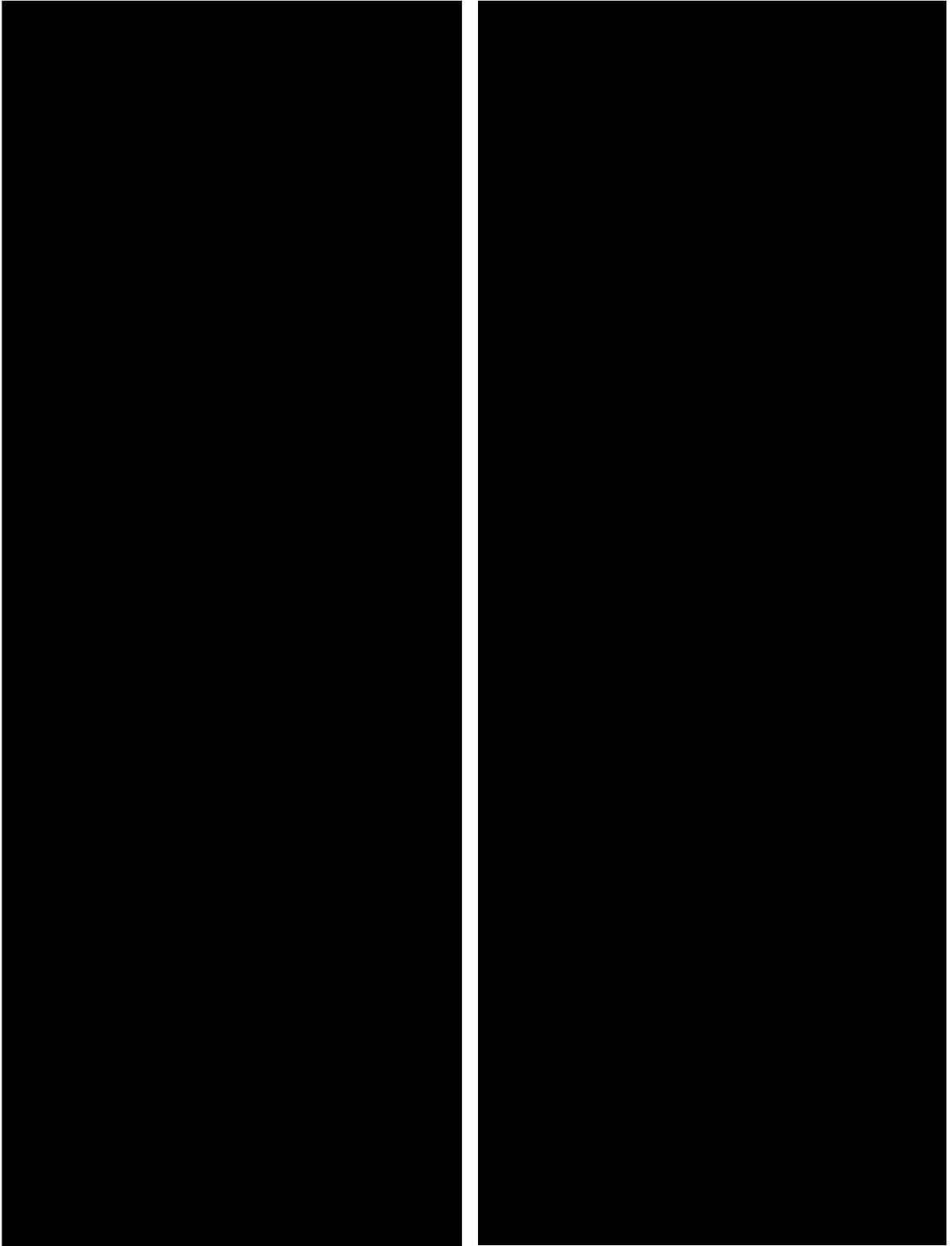
差 引 0

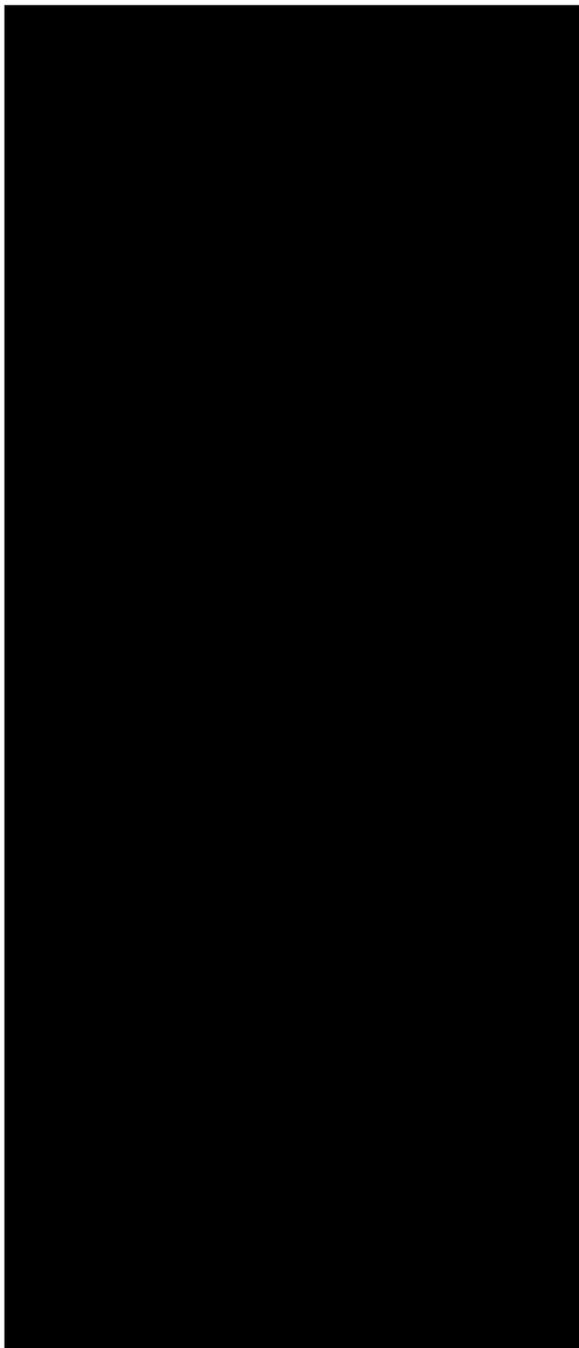
会 員 の 異 動 (1997. 11. 21 ~ 1998. 4. 24)











事 務 局 よ り

会費納入についてのお願い

新年度に当たり、会費を同封の振込用紙にて、6月末日までにお支払いいただきますようお願い申し上げます。

振込用紙には金額が記入してありませんので、一般会員は7,500円、大学院生は5,000円を記入のうえ御送金ください。念のため、この会報をお届けした封筒の宛名ラベルに、お振り込みいただくべき会費の金額が表示しております。なお金額が大きくなっている方は、昨年度会費の滞納分が合算されておりますので、その表示通りお振り込み願います。

なお大学院生とは、後期博士課程の正規の学生のみで、研究生・学術振興会特別研究員などでは大学院生とは見なされませんので、御注意ください。またこの1年間に大学院生でなくなった方は、通信欄にその旨をお書き添えのうえ、一般会費を御送金ください。

研究会場での会費現金徴収を停止

本号1頁で御説明申し上げましたとおり、本年度秋の京都大会より、総会・研究会当日における学会費現金徴収を停止いたします。

あらかじめ郵便振替にてお支払いいただきますよう、改めてお願い申し上げます。

本号の目次

- | | |
|----------------------------------|----|
| 1. 研究会場での
会費現金徴収の停止について | 1 |
| 2. 今年度研究会の企画について | 1 |
| 3. 98年度研究会プログラム | 2 |
| 4. 理事会記録 | 4 |
| 5. 1997年度決算 | 7 |
| 6. 1998年度予算 | 8 |
| 7. 会員の異動 | 9 |
| 8. 事務局より | 14 |

計 報

下記の会員が逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。

- 関 寛治氏 (立命館大学教授)
平和学・国際政治学 1927年生
- 神島二郎氏 (立教大学法学部名誉教授)
政治思想史・政治学 1918年生
- 上田惟一氏 (関西大学法学部教授)
イギリス政治思想史・地域政治論
1944年生

1998年5月28日

発行 日本政治学会事務局

馬場 康雄

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1

東京大学法学部研究室内

TEL 03-3812-2111 (内) 3231

FAX 03-3816-7375

(お問い合わせはできるだけFAXで)

郵便振替番号 00100-8-84250

加入者名 日本政治学会

印刷 (株)ナカヤマ印刷